

島田市の高齢者の状況

1. 人口構造

(1) 高齢者人口の推移

2022（令和4）年9月30日現在の総人口は96,666人となっており、減少傾向が続いています。65歳以上の高齢者人口及び75歳以上の後期高齢者人口は増加を続けており、2018（平成30）年と比較して、高齢化率は30.5%から31.8%に、後期高齢化率は15.8%から16.9%に上昇しています。高齢者人口に占める後期高齢者の割合は、前期高齢者の割合を上回っています。

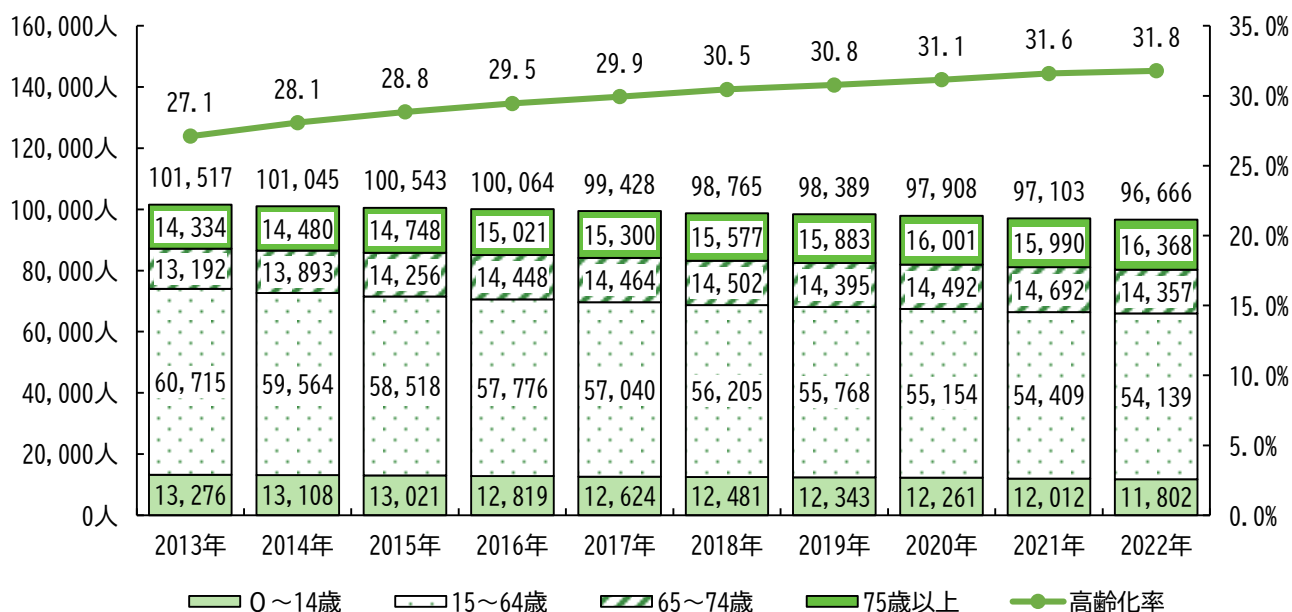
一方で、0～14歳までの年少人口は、2018（平成30）年の12.6%から2022（令和4）年の12.2%に下降し、15～64歳までの生産年齢人口は、2018（平成30）年の56.9%から2022（令和4）年の56.0%に減少しています。

■ 高齢者人口の推移

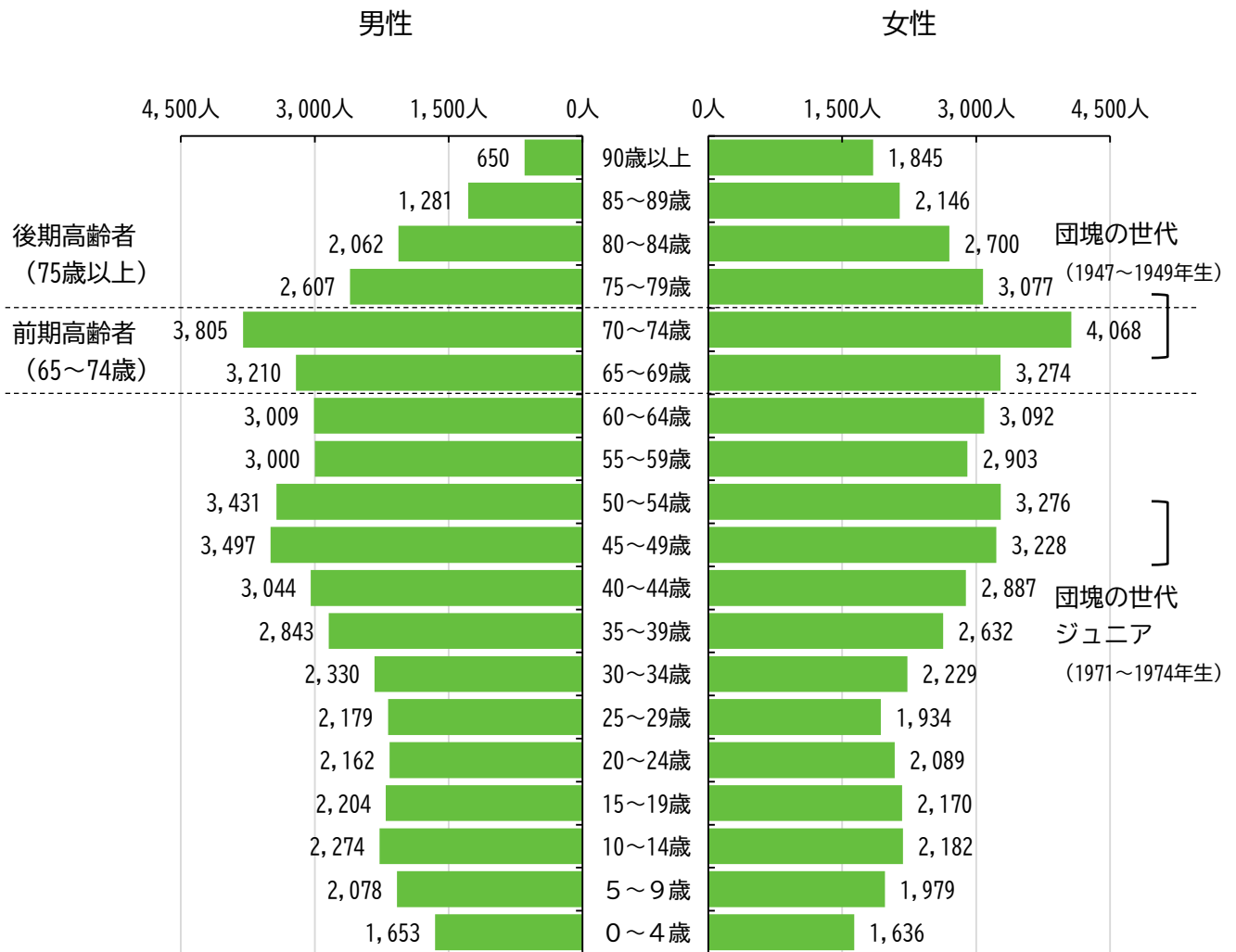
(単位：人)	2018年 平成30年	2019年 令和元年	2020年 令和2年	2021年 令和3年	2022年 令和4年	2022年 全国	2022年 静岡県
総人口	98,765	98,389	97,908	97,103	96,666	124,947,000	3,582,194
0～14歳	12,481	12,343	12,261	12,012	11,802	14,503,000	416,965
	12.6%	12.5%	12.5%	12.4%	12.2%	11.6%	11.6%
15～64歳	56,205	55,768	55,154	54,409	54,139	74,208,000	2,034,528
	56.9%	56.7%	56.3%	56.0%	56.0%	59.4%	56.8%
65歳以上	30,079	30,278	30,493	30,682	30,725	36,236,000	1,091,752
	30.5%	30.8%	31.1%	31.6%	31.8%	29.0%	30.5%
65～74歳	14,502	14,395	14,492	14,692	14,357	16,872,000	509,782
	14.7%	14.6%	14.8%	15.1%	14.9%	13.5%	14.2%
75歳以上	15,577	15,883	16,001	15,990	16,368	19,364,000	581,970
	15.8%	16.1%	16.3%	16.5%	16.9%	15.5%	16.2%

(資料) 住民基本台帳（各年9月末現在）、全国、県は推計人口（2022（令和4）年10月1日現在）

※県では、年齢不詳者がいるため、年齢別人口の合計と総人口の数は一致しない



■ 人口ピラミッド



(資料) 住民基本台帳 (2022 (令和4) 年9月末現在)

2. 高齢者のいる世帯の推移

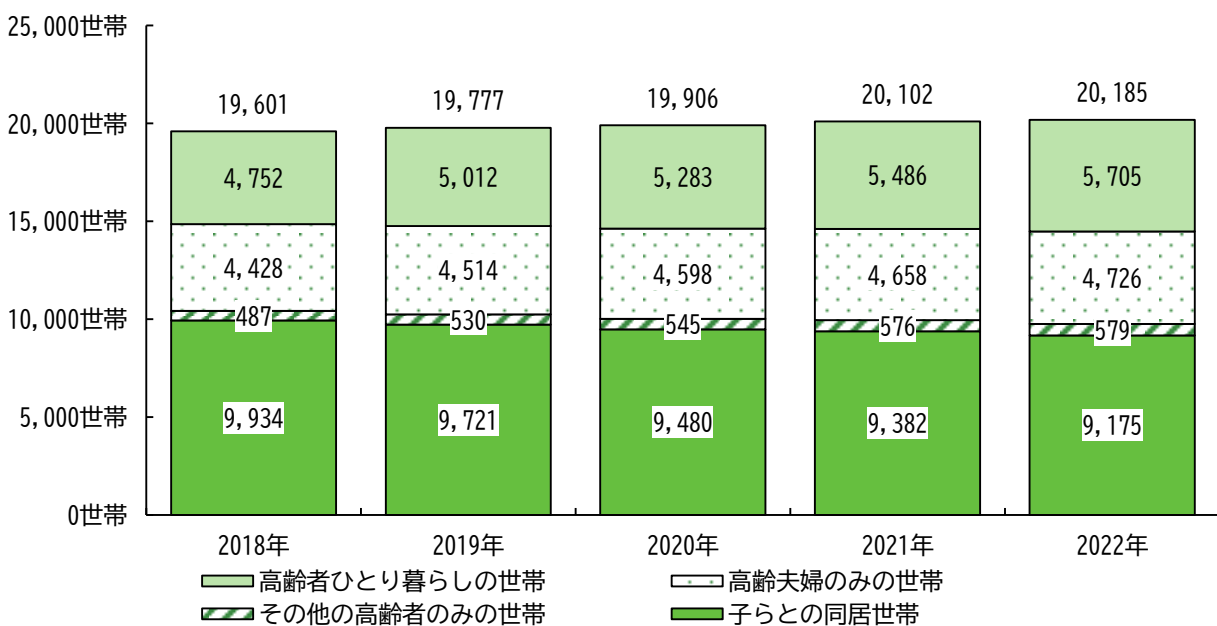
高齢者のいる世帯数は2022（令和4）年では20,185世帯と年々増加していますが、総世帯数に占める割合は、2018（平成30）年以降、ほぼ横ばいとなっています。

高齢者のいる世帯の構成割合について2018（平成30）年と2022（令和4）年と比較すると、ひとり暮らし世帯は12.6%から14.7%と2.1ポイント上昇し、高齢者夫婦のみの世帯は11.8%から12.2%と0.4ポイント上昇しています。

■ 高齢者のいる世帯の推移

（単位：世帯）	2018年 平成30年	2019年 令和元年	2020年 令和2年	2021年 令和3年	2022年 令和4年
総世帯数	37,580	37,942	38,300	38,618	38,766
高齢者のいる世帯	19,601	19,777	19,906	20,102	20,185
	52.2%	52.1%	52.0%	52.1%	52.1%
高齢者ひとり暮らしの世帯	4,752	5,012	5,283	5,486	5,705
	12.6%	13.2%	13.8%	14.2%	14.7%
高齢夫婦のみの世帯	4,428	4,514	4,598	4,658	4,726
	11.8%	11.9%	12.0%	12.1%	12.2%
その他の高齢者のみの世帯	487	530	545	576	579
	1.3%	1.4%	1.4%	1.5%	1.5%
子らとの同居世帯	9,934	9,721	9,480	9,382	9,175
	26.4%	25.6%	24.8%	24.3%	23.7%

（資料）高齢者福祉行政の基礎調査（各年4月1日現在）



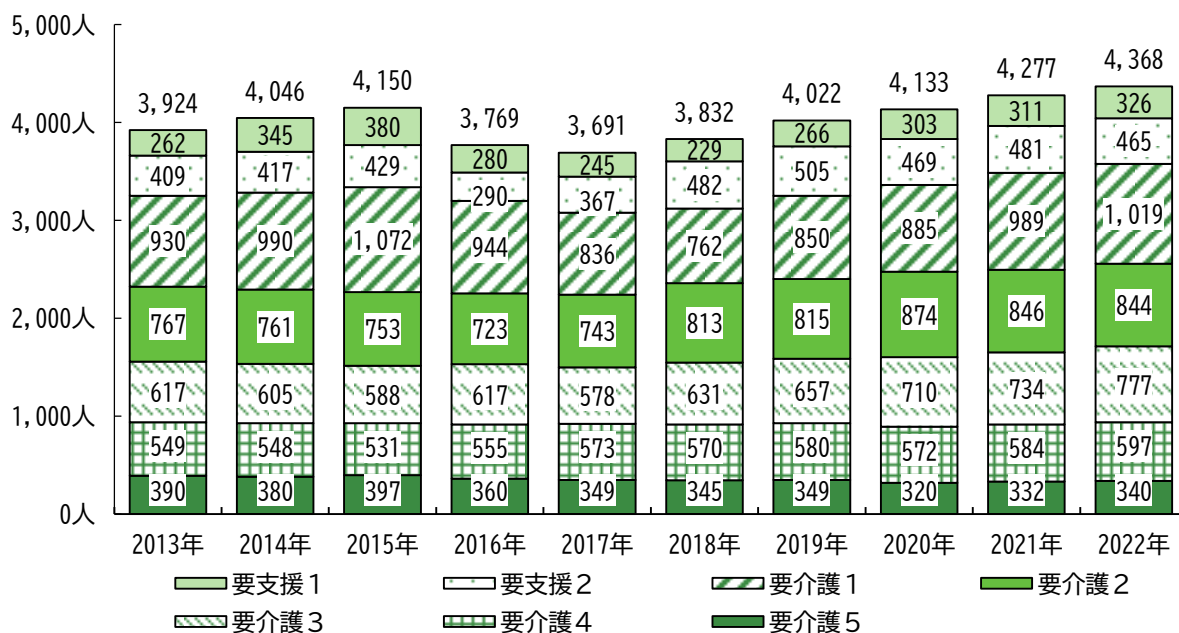
3. 要支援・要介護認定者数の推移

要支援・要介護認定者数は、2018（平成30）年以降は増加傾向にあり、2022（令和4）年には4,368人となっています。

■ 認定者数の推移（2号含む）

（単位：人）	2018年 平成30年	2019年 令和元年	2020年 令和2年	2021年 令和3年	2022年 令和4年
認定者	3,832	4,022	4,133	4,277	4,368
要支援1	229	266	303	311	326
要支援2	482	505	469	481	465
要介護1	762	850	885	989	1,019
要介護2	813	815	874	846	844
要介護3	631	657	710	734	777
要介護4	570	580	572	584	597
要介護5	345	349	320	332	340

（資料）見える化システム：厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（各年3月末現在）（令和4年は月報）



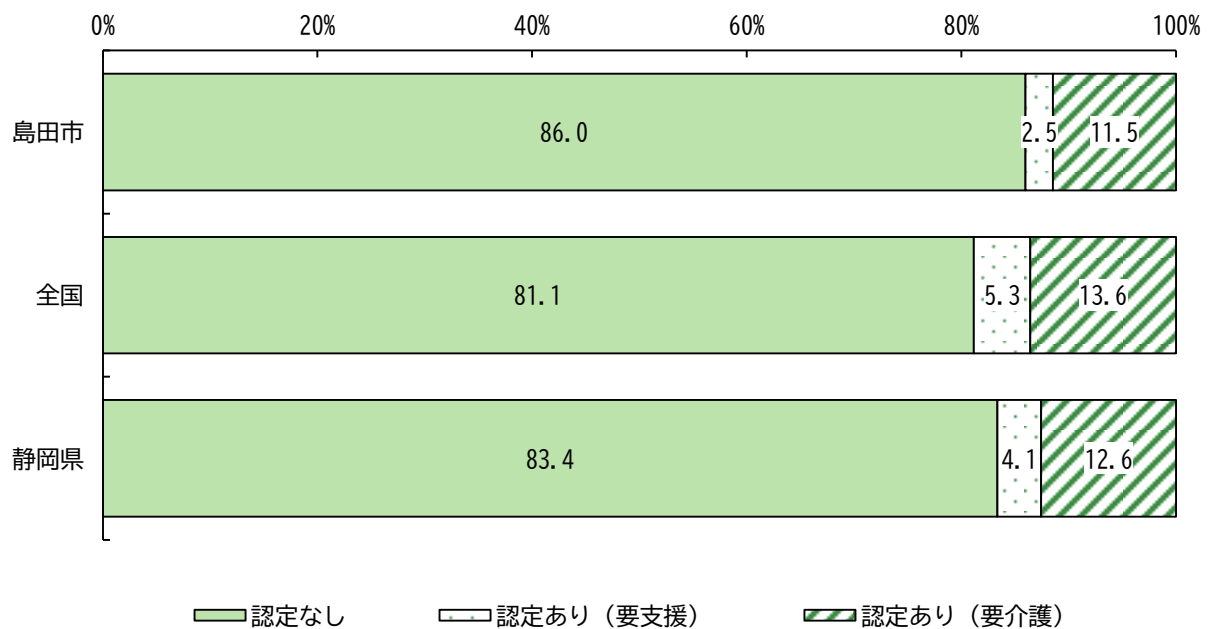
4. 認定状況

認定率は、全国・静岡県と比較して低く、介護度別にみると要介護3を除く介護度で全国・静岡県を下回っています。

■ 介護度別認定率の比較

(単位：%)	認定なし	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
島田市	86.0	1.0	1.5	3.3	2.7	2.5	1.9	1.1
全国	81.1	2.7	2.6	3.9	3.2	2.5	2.4	1.6
静岡県	83.4	1.9	2.2	4.1	2.9	2.3	2.1	1.2

(資料) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報(令和4年3月末現在)



5. 日常生活圏域の設定

本市では、地理的条件、人口規模、交通事情、介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備状況などを総合的に勘案し、中学校区を基本として考えます。北中学校区が島田第一中学校区に統合されたため、第8期計画で設定した7圏域から、6圏域に変更しました。

■ 日常生活圏域図



川根中学校区

地 域：川根町抜里、川根町家山、
川根町葛籠、川根町身成、
川根町上河内、川根町笹間渡、
川根町笹間下、川根町笹間上

人 口：4,103 人

高齢者数：2,025 人（高齢化率：49.4%）

島田第二中学校区

地 域：大川町、新町通、南、高砂町、
本通3～7丁目、宝来町、幸町、中
央町、柳町、大津通、新田町、祇
園町、旗指、中河町、元島田、元
島田東町、旭、松葉町、
御飯屋町、野田、落合、尾川、
大草、千葉、ばらの丘

人 口：22,400 人

高齢者数：6,828 人（高齢化率：30.5%）

六合中学校区

地 域：道悦、道悦島、高島町、御請、
細島、東町、阿知ヶ谷、東光寺、
岸町、岸

人 口：16,188 人

高齢者数：4,109 人（高齢化率：25.4%）

初倉中学校区

地 域：湯日、牧之原、阪本、船木、大柳、
大柳南、中河、井口、南原、岡田、
月坂

人 口：12,913 人

高齢者数：3,972 人（高齢化率 30.8%）

島田第一中学校区

地 域：河原、稻荷、向谷、大井町、
三ッ合町、向谷元町、扇町、日之出町、
本通1・2丁目、向島町、宮川町、
中溝町、中溝、若松町、柴町、横井、
伊太、相賀、神座、鶺鴒、伊久美、
身成、笹間下

人 口：22,619 人

高齢者数：7,432 人（高齢化率：32.9%）

金谷中学校区

地 域：神谷城、菊川、切山、神谷城、
金谷富士見町、金谷金山町、金谷新町、
金谷坂町、金谷城山町、金谷南町、
金谷田町、金谷本町、金谷緑町、
金谷、金谷古横町、金谷都町、
金谷上十五軒、金谷下十五軒、
金谷清水、金谷天王町、金谷二軒家、
金谷中町、金谷扇町、金谷宮崎町、
金谷栄町、金谷代官町、金谷根岸町、
金谷河原、金谷泉町、金谷東、高熊、
福用、神尾、横岡、横岡新田、竹下、
牛尾、島、番生寺、大代

人 口：17,756 人

高齢者数：6,350 人（高齢化率：35.8%）



2023（令和5）年7月21日現在

6. 日常生活圏域の現状

人口	95,979人	65歳以上人口 (高齢化率)	30,716人 (32.0%)	要支援認定者数	883人
		75歳以上人口 (後期高齢化率)	16,899人 (17.6%)	要介護認定者数	3,540人

2023(令和5)年7月21日現在、認定者数は7月31日現在

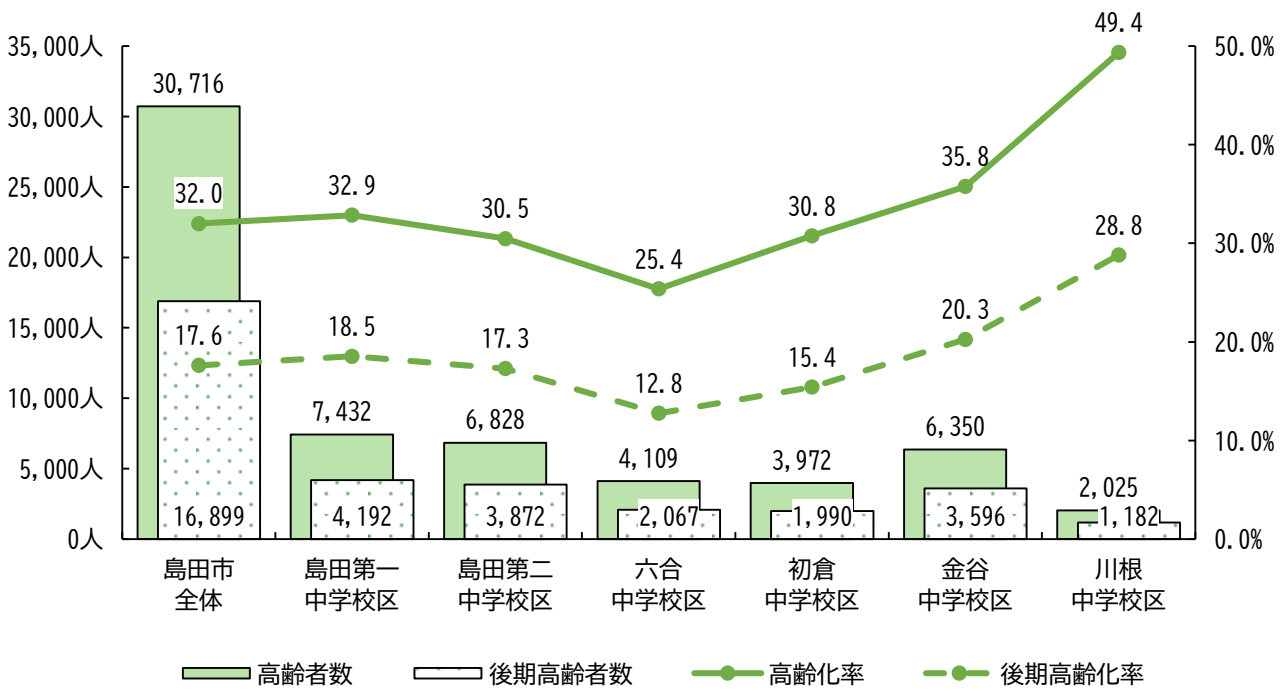
日常生活圏域の特徴

- 高齢化率の最も高い川根中学校区と最も低い六合中学校区とでは、24.0ポイントの差となっている。
- 後期高齢化率の最も高い川根中学校区と最も低い六合中学校区とでは、16.0ポイントの差となっている。
- 認定率の最も高い島田第二中学校区と最も低い六合中学校区・初倉中学校区とでは、4.4ポイントの差となっている。
- 圏域別要介護度別認定者割合では、要支援1・2、要介護1の軽度者の割合が最も高い圏域は、島田第一中学校区であり、次いで島田第二中学校区、川根中学校区の順となっている。また、要介護4・5の重度者の割合が最も高い圏域は、初倉中学校区であり、次いで川根中学校区、金谷中学校区の順となっている。

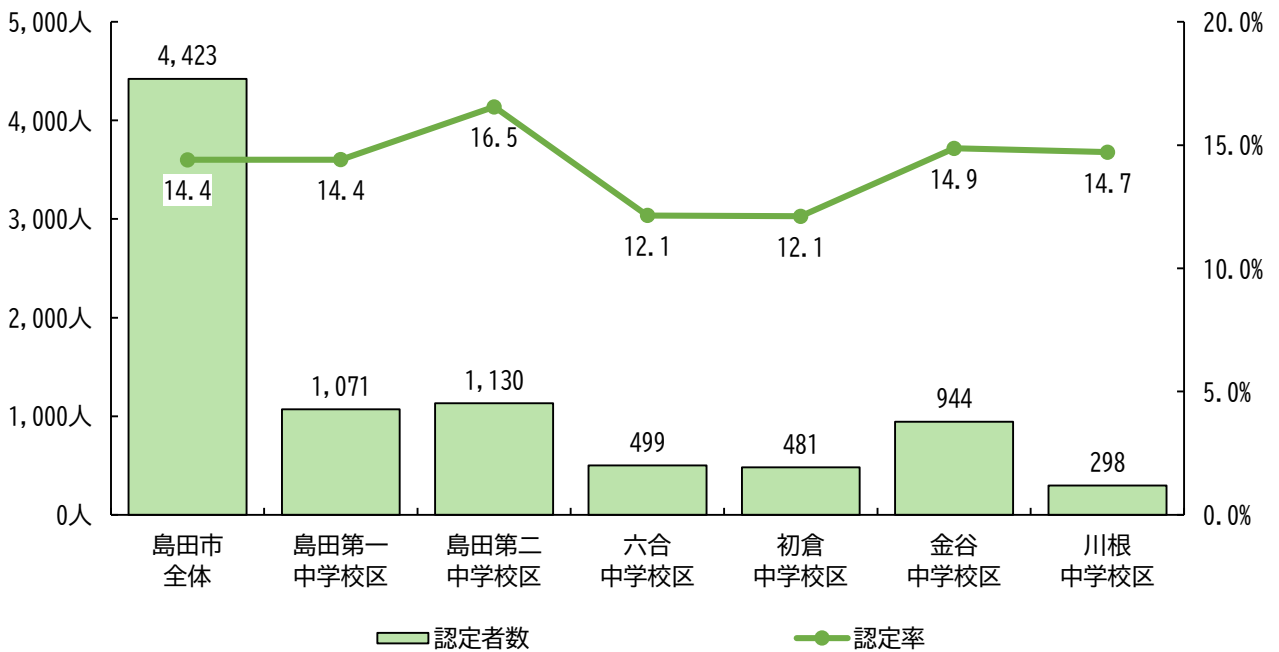
(単位：人)	島田市 全体	島田第一 中学校区	島田第二 中学校区	六合 中学校区	初倉 中学校区	金谷 中学校区	川根 中学校区
人口	95,979	22,619	22,400	16,188	12,913	17,756	4,103
高齢者数	30,716	7,432	6,828	4,109	3,972	6,350	2,025
	32.0%	32.9%	30.5%	25.4%	30.8%	35.8%	49.4%
後期 高齢者数	16,899	4,192	3,872	2,067	1,990	3,596	1,182
	17.6%	18.5%	17.3%	12.8%	15.4%	20.3%	28.8%
認定者数	4,423	1,071	1,130	499	481	944	298
	14.4%	14.4%	16.5%	12.1%	12.1%	14.9%	14.7%

※認定率：要支援・要介護認定者数/第1号被保険者数

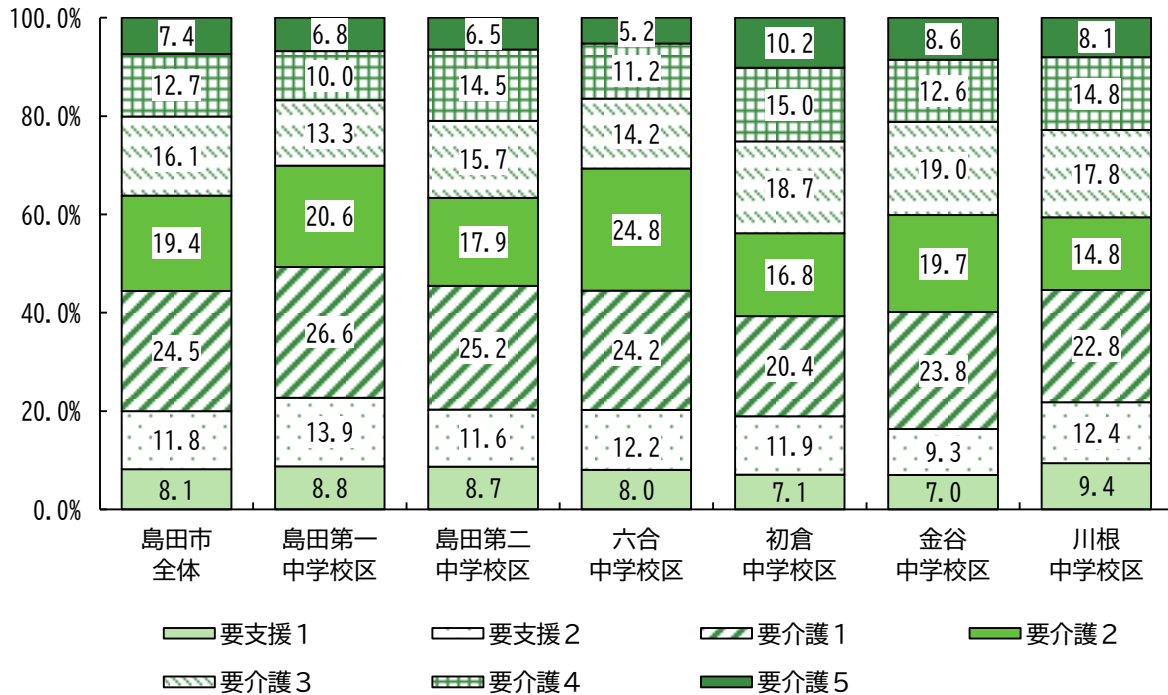
■ 圏域別高齢者・後期高齢者数（割合）



■ 圏域別要支援・要介護認定者数（割合）



■ 圏域別要介護度別認定者割合



(1) 島田第一中学校区

高齢者の状況
●高齢化率は32.9%と市全体（32.0%）を0.9ポイント上回っている。
●後期高齢化率は18.5%と市全体（17.6%）を0.9ポイント上回っている。
●認定率は14.4%と市全体（14.4%）と同程度となっている。
●認定者の要介護度別内訳では、要支援1・2、要介護1の軽度者が49.3%と市全体（44.4%）を4.9ポイント上回り、市内で最も高い。また、要介護4・5の重度者の割合が16.8%と市全体（20.1%）を3.3ポイント下回り、市内で2番目に低い。

(2) 島田第二中学校区

高齢者の状況
●高齢化率は30.5%と市全体（32.0%）を1.5ポイント下回り、市内で2番目に低い。
●後期高齢化率は17.3%と市全体（17.6%）を0.3ポイント下回っている。
●認定率は16.5%と市全体（14.4%）を2.1ポイント上回り、市内で最も高い。
●認定者の要介護度別内訳では、要支援1・2、要介護1の軽度者の割合は45.5%と市全体（44.4%）を1.1ポイント上回り、市内で2番目に高い。また、要介護4・5の重度者は21.0%と市全体（20.1%）を0.9ポイント上回っている。

(3) 六合中学校区

高齢者の状況

- 高齢化率は25.4%と市全体（32.0%）を6.6ポイント下回り、市内で最も低い。
- 後期高齢化率は12.8%と市全体（17.6%）を4.8ポイント下回り、市内で最も低い。
- 認定率は12.1%と市全体（14.4%）を2.3ポイント下回り、市内で最も低い。
- 認定者の要介護度別内訳では、要支援1・2、要介護1の軽度者の割合が44.4%と市全体（44.4%）と同程度となっている。また、要介護4・5の重度者の割合は16.4%と市全体（20.1%）を3.7ポイント下回り、市内で最も低い。

(4) 初倉中学校区

高齢者の状況

- 高齢化率は30.8%と市全体（32.0%）を1.2ポイント下回っている。
- 後期高齢化率は15.4%と市全体（17.6%）を2.2ポイント下回り、市内で2番目に低い。
- 認定率は12.1%と市全体（14.4%）を2.3ポイント下回り、市内で最も低い。
- 認定者の要介護度別内訳では、要支援1・2、要介護1の軽度者は39.4%と市全体（44.4%）を5.0ポイント下回り、市内で最も低い。また、要介護4・5の重度者は25.2%と市全体（20.1%）を5.1ポイント上回り、市内で最も高い。

(5) 金谷中学校区

高齢者の状況

- 高齢化率は35.8%と市全体（32.0%）を3.8ポイント上回り、市内で2番目に高い。
- 後期高齢化率は20.3%と、市全体（17.6%）を2.7ポイント上回り、市内で2番目に高い。
- 認定率は14.9%と市全体（14.4%）を0.5ポイント上回り、市内で2番目に高い。
- 認定者の要介護度別内訳では、要支援1・2、要介護1の軽度者は40.1%と市全体（44.4%）を4.3ポイント下回り、市内で2番目に低い。また、要介護4・5の重度者は21.2%と市全体（20.1%）を1.1ポイント上回っている。

(6) 川根中学校区

高齢者の状況

- 高齢化率は49.4%と市全体（32.0%）を17.4ポイント上回り、市内で最も高い。
- 後期高齢化率は28.8%と、市全体（17.6%）を11.2ポイント上回り、市内で最も高い。
- 認定率は14.7%と市全体（14.4%）を0.3ポイント上回っている。
- 認定者の要介護度別内訳では、要支援1・2、要介護1の軽度者は44.6%と市全体（44.4%）を0.2ポイント上回っている。また、要介護4・5の重度者は22.9%と市全体（20.1%）を2.8ポイント上回り、市内で2番目に高い。